

第2回 瑞浪市市民まちづくり会議 グループワークまとめ ②

資料 1-3

と き：令和6年2月2日(金) 19時00分～

ところ：瑞浪市役所西分庁舎 1 階会議室

1グループ 出た意見を種類別に大きくグループ分けしました。

比較的良い評価グループ

- ・パレオパラドキシアがメジャーになった
- ・パレオパラドキシアの東濃弁は親しみが持てた
- ・「やるじゃん」と思った
- ・斬新な内容でした
- ・ラップ調ののりが良かった
- ・ラップバトルで化石がわかる これは…
- ・瑞浪と化石のマッチングは goo !
- ・化石の 1 つを深める
- ・化石のPRが充分できた
- ・奇跡の化石というフレーズはなじみやすかった
- ・1 つのテーマをこだわって作成した
- ・将来の瑞浪を考えた映画
- ・瑞浪の独自の魅力を伝える
- ・年齢、地域をこえて交流
- ・参加したいと思ってくれたこと
- ・市民がつくる
- ・市民参加型
- ・若者が参加し活躍した

主に周知に関する課題感

- ・動画を制作していることすら知らなかった。若者は知っていたのに
- ・市民の認知度
- ・もっと子供が知るといい!!
- ・学校への案内（出張授業など）
- ・動画の認知
- ・市民へのPR不足では
- ・もっと瑞浪市で広報を!!
- ・市民への広報⇒知らない層の把握
- ・市民が参加しやすい取り組みを
- ・市民の出演をもう少し多く!!
- ・動画のPRをもっと市民にすべき

出口戦略、今後の展開についての課題感

- これからどうアピる？
- 動画は続きがあるといいと思いますが…
- 続き？
- 化石以外に瑞浪をPRするものは他にあるかも 検討した方が良い
- 次の作品への予算は？ 継続してほしい
- パレオの認知度を上げる方策
- 化石博物館の来館者は増えた？
- 次のステップは？
- 続きを考える場をつくる

その他

- 高校生は瑞浪市民だったのかな？
- 知っている人がわかる場所 もう少しヒントを
- 自然
- ユーチューブの字幕？
- 1700万の製作費
- 中学生のアイデアも（デスモが強い）
- 外で評価された理由？
- 主体的に関わる
- 感想を市に伝える（応援する）
- 高齢者の反応が気になる

2 グループ

出た意見を種類別に大きくグループ分けしました。

比較的良い評価グループ

- とんがったものをつくったのは良かった
- 高校生が自分のアイデアを出して形にできたのは良かった
- 参加者がストーリーづくりを学ぶことができたのは良かった
- 釜戸るいちゃんが可愛かった 釜戸を PR できた
- パレオを今後 PR していきたい
- インパクト強い曲であった
- 化石への印象はインパクトがあった
- 化石を PR ポイントにしての動画はわかりやすい
- 化石検定を中高生へ広めてほしい（おもしろい企画である）
- 若者参加のワークショップ⇒効果あり

主に周知に関する課題感

- 参加しなかったので、もっと宣伝、ピーアールしてほしかった
- 若い子が市の HP を見ていない人が多いため知らない
- 市民への周知？認知は？ まだ弱い
- 啓発の仕方は？
- 各種関係団体の会議に出向いて PR をしたか
- 周知が課題
- 市 啓発の仕方が良かったか？（地域に出向く）
- 市民の認知の検証 特に高齢者は？
- 募集を知らない

出口戦略、今後の展開についての課題感

- これで市民のシビックプライドが向上したのかアンケート等で検証した方が良い
- 費用対効果はどうなのか 何が残るのか やや疑問
- 1700 万円の効果
- 高齢者の視聴は低いと思う。そのための方策は考えたか
- 高齢の方が視聴できるようにしていただきたい
- ホームページや YouTube 以外の公開はどの程度されたか
- 視聴時間がやや長い
- 動画時間としては長い
- 移住相談者の動画の認知度を集計してあるか
- 若い子のウケがイマイチ
- 市長にかぶって踊ってもらおうと良い
- かぶりもの体験⇒動画
- かぶりものを博物館に置いて誰でもかぶって踊れるようにしたら

- DVD を作成して地区での動画公開は可能か
- 市、今後、動画 PR の方法の検証
- 化石にとどまることなく瑞浪市の PR をこの動画からどうつなげていくか
- パレオを PR していくことのインパクトがやや弱くないか
- ターゲットを年代層に合わせて考えていく必要はないか？
- インスタ× TikTok などを使い短い動画にする
- 若い人への周知がかぎ!!
- PR すべき中身は何？ 市外の人に何をしてほしいの？
- 「瑞浪愛」が必要なのか「地域愛」が必要なのか？
- 継続的に関心が持てる方法はないか？
- 市民の関心はどこにあるか ニーズに合っているのか？

その他

- 市民にスキルが身につくようなやり方がいいのでは？
- MAP 作り
- 駅の活用
- 駅の周囲をにぎやかに
- 化石までの行き方
- 危機感のなさ
- たくさんの人に語り伝えていく

グループ分けの結果の意見まとめ

→市民参加型でノリも良く、化石という1つのテーマ・魅力に絞った結果、斬新な動画を制作できた点は良かった。

しかし、動画を制作していることすら知らない方もあり、市民への制作への周知に課題があるほか、その結果、市民の参加も限定的であり、制作した動画自体の周知についてもターゲット層であるはずの学校をはじめ、市民への PR 不足といったことが懸念される。

また、動画の続きも含めた出口戦略について、将来を見据えて継続するのか否か検討すべき。動画でモチーフとなったパレオパラドキシアの認知度向上やそれに伴った化石博物館等のコンテンツへの誘客について、せっかく作った被り物を活用するなど、動画をどのような事柄に繋げていくのか明確にする必要がある。

さらには、シビックプライドの向上に繋がっているか、費用対効果があったと言えるか等の効果検証を行っていただきたい。